※令和４年度以降入学生用

学校番号	311

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	実用書	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小・中学校における書写の学習を基礎として書写能力を伸ばしていきます。
・書を生活の中で活かしていきます。
・日常生活における書の美しさを感じる力を育てていきます。
・日常生活の中でよりよい人間関係を保つのに必要な知識を身につけていきます。

【具体的な取り組み)
・用具・用材の機能を理解し、目的に応じた用具・用材の選択を学習します。
・日常生活の様々な場面を考え、目的に応じた表現を学びます。
・日常生活の中での書の効用について考えます。
・慶弔などについての書式やきまりの学習を通して、よりよい人間関係のあり方について考えていきます。

2　学習の到達目標

生活の中の書の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	・主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	・実用書の学習内容を理解する。	a:生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化について理解している。（知） c:実用書の意味や価値について考えながら、書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート		ワークシート
	硬筆・毛筆の基礎	・ボールペンや小筆を用いて、用具の用い方や、楷書・行書・平仮名などの書き方を学習する。	a:用具の用い方や、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。（鑑・知） a:作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。（技） b:書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、用筆、運筆、字形、全体構成などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品 ワークシート	作品 ワークシート	ワークシート 観察
	作品制作①	・毛筆を用いて、線質、字形、全体構成などを工夫しながら作品を制作する。展示し鑑賞し合う。				
2学期	作品制作②	・硬筆を用いて、字形、全体構成などを工夫しながら作品を制作する。展示し鑑賞し合う。		作品 ワークシート	作品 ワークシート	ワークシート 観察
	慶弔のきまり・書き方	・慶弔のきまりや書き方、様式について学び練習する。筆ペンの使い方も学ぶ。	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。生活の中の書のきまりや伝統について理解している。(知) a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。(鑑・知)	作品 ワークシート	作品 ワークシート	ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

	葉書(年賀状)の書き方	・年賀状を制作する。葉書の宛名面・裏面の書き方を学ぶ。	a:目的や用途に即した効果的な表現、技能を身に付けている。(技) b:字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) c:生活の中の書の表現やきまりの学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:生活の中の書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。(鑑)			
3学期	作品制作③	・線質、字形、全体構成などを工夫しながら作品を制作する。展示し鑑賞し合う。	a:用具の用い方や、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果との関わりについて理解している。（鑑・知） a:作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。（技） b:書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し、用筆、運筆、字形、全体構成などを工夫している。 b:創造された作品の価値とその根拠、生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） c:書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現の創造的活動に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。（鑑）	作品 ワークシート	作品 ワークシート	ワークシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度